

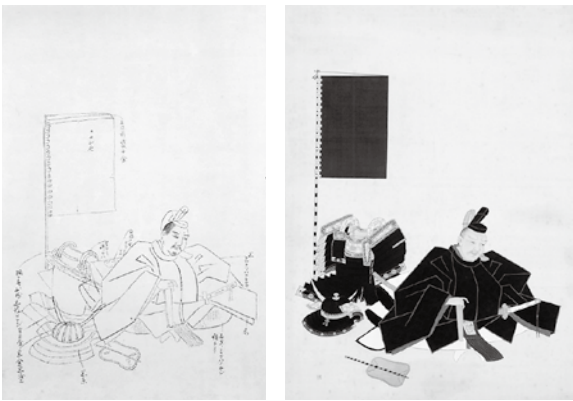
五代藩主 伊達吉村

仙台市博物館 学芸員 佐々木徹



初めての傍系藩主

吉村は、延宝八年（一六八〇）、仙台藩の
一門であった伊達宗房（二代藩主忠宗の八
男、宮床伊達氏の祖）の子として生まれ、も
とは村房と名乗っていました。元禄八年
（一六九五）、一六歳の時に男子に恵まれな
かった四代藩主綱村の養嗣子に迎えられ、江
戸幕府五代将軍・徳川綱吉の一字を拝領して
吉村と改めました。元禄一六年、隠居した綱
村に替わり二四歳で五代藩主となりました。
それまで仙台藩主は、初代政宗以来、直系



『伊達家歴代画真』とその下絵(初代藩主伊達政宗の部分)
仙台市博物館蔵

財政再建を果たした「名君」

で受け継がれてきましたが、この時初めて傍
系の藩主が誕生することになりました。その
ため綱村は、村房（吉村）を養嗣子に迎えた
翌年、将来藩主として仕えることを一門衆や
奉行衆に誓約させ、初めての経験に備えてい
ます。ただし吉村は、血筋としては政宗の
曾孫に当たります。

長年、財政難に陥っていた仙台藩では、し
ばしば財政再建策を講じてきましたが、思う
ように改善できない状況が続いていました。
さらに、四代藩主綱村が進めた寺社の修造や
仙台城二の丸の施設拡充などは藩財政を一層
悪化させました。幕府に命じられた日光東照
宮普請なども重い負担となっていました。
藩主となった吉村にとって、こうした財政
の立て直しが大きな課題の一つでした。その
ため吉村は、様々なかたちで節約令を出す
とともに、役所内の数十パーセントの歳出削減
催合制（相互扶助制度）導入による家臣の負
担軽減、江戸への廻米の強化、鑄銭事業など
を推進して藩財政を黒字へと好転させていま
す。特に大きな転機となったのは、吉村藩政
の後半期に当たる享保一七年（一七三二）の
江戸廻米でした。西日本の凶作により江戸の
米価が高騰し、仙台米の廻送も増量されたた

和歌・書画・学問

吉村は、学問や芸能にも大変造詣が深く、
歴代藩主の中で最も多くの和歌や絵画を残し
ています。和歌では『隣松集』『統隣松集』な
どの私家集を著し、著名な古歌とその歌意を
文字と絵画で表した『六所玉河和歌御手鑑』
といった作品もあります。



め、大きな利潤を得たのです。
その他にも、家臣・百姓らの風紀の引き締
め、軍役整備や職制のスリム化など、藩政改
革に力を注ぎ、「仙台藩中興の名君」とも評価
されています。



絵画では、『源氏物語』に取材した『源氏八
景御手鑑』や『たかがり・すなどり図』のよ
うな狩猟図などのほか、自画像までも残して
います（本頁表題の下にある肖像画がそれだ
す）。鎌倉時代に始まる伊達家歴代当主二一
名の肖像画集『伊達家歴代画真』を絵師に描か
せた際には、自らその下絵を描いて図柄を細
かく指示するなどのこだわりもみせています。
また元文元年（一七三六）、藩校養賢堂の
前身である学問所を設置し、藩の学者を通じ
て家臣たちに学問を講釈させ、読書指南する
場としました。
寛保三年（一七四三）、吉村は六四歳で隠
居して藩主の座を息子（宗村）に譲り、宝
暦元年（一七五二）、七二歳で死去しました。
理屈に過ぎるといった側面はあったものの、
思慮深く、仁愛をもって人に接する人柄で
あったようです。
※本稿では仙台市博物館の学術研究機関た
る立場から歴史上の人物名に敬称を付し
ておりません。

宮城県民芸協会設立50周年記念 企画展
日本民藝館所蔵品による **手仕事の日本** —柳宗悦のまなざし—
やなぎむねよし
会期：4月20日（金）～6月3日（日）

大正時代、思想家・柳宗悦は日常の生活用具の中に美を見出し、全国を旅してそれらの品々を収集しました。
この企画展では、柳が著書『手仕事の日本』に取り上げた各地の民芸品や芹沢銈介の『日本民藝地図』など数々の優品を紹介します。

【観覧料】常設展料金でご覧いただけます。
一般・大学生460円(360円)、高校生230円(180円)、小・中学生110円(90円)
※()内は30名以上の団体料金
【開館時間】9:00～16:45(入館は16:15まで) 【会期中の休館日】毎週月曜日(4月30日は開館)

【左上】山水文土瓶(栃木県・益子 1940年頃)、【右上】文字入小器(秋田県・角館 1942年)【左下】大黒形自在掛(北陸地方 19世紀)【右下】木綿切伏織衣(北海道・アイヌ 19世紀後半)
全て日本民藝館蔵

仙台市博物館 TEL:022-225-3074
SENDAI CITY MUSEUM 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶Twitter @sendai_shihaku